ZENKYO広島

２０２５年１２月１７日＜速報版＞
発行人：　全広島教職員組合（全教広島）情報宣伝部
〒732-0052　広島市東区光町 2-9-24 広島ロードビル 403
TEL(082)264-7850　FAX(082)261-1912
組合員配布

ゆきとどいた教育の充実を！
県議会に請願署名５，９４８筆を提出

中本県議会議長（左から３人目）に
請願を手渡す神部副委員長（同４人目）

１２月広島県議会定例会中の１５日、県の「ゆきとどいた教育をすすめる会」（佐藤清隆代表）は、

私学助成の拡充や教育費の公私間格差をなくすことなどを求める署名（私学署名）６７５９人分と、国の責任による「２０人学級」を展望した少人数学級の前進などを求める署名（公立署名）５９４８人分の請願書を、中本隆志県議会議長に手渡しました。

公立高校生の保護者は「古い学校のトイレをぜひ改修してほしいし、県立高校の統廃合の方針は撤回してもらいたい」と発言。中本書記長は「不登校も教職員の精神疾患も増え続けている。このままでは学校はもたない。国をまたず県の教育予算を増やしてほしい」と発言しました。私立高校の保護者は「共働きだと年収５９０万円を超え、助成が低くなる。問題は山積しています」と訴えました。請願提出にあたっては、全会派に要請しましたが、紹介議員になっていただいた日本共産党の藤井敏子、河村晃子両県議のみが同席しました。来年２月には国会に提出するため、引き続いて署名の取り組みを呼びかけています。

全国から寄せられた教育署名約９４万筆を集約

１２月５日、日本橋社会教育会館にて、今年度の教育全国署名・請願集約集会が行われました。全教広島からは、海田支部の胡谷さんご夫妻に参加していただきました。

（以下は、胡谷さんからの報告です）

今年度の集約は１２月５日（金）に行われました。１１時より全国教育文化会館エデュカスで意思統一を行い、１１時３０分から各県ごとに地元の国会議員への要請に衆参の国会議員会館を訪問しました。広島県の選出議員７名を訪問しました。留守の２名を除き、本人には会えませんでしたが、秘書に要請文を渡し、紹介議員になってほしいと要請しました。その後、中央区日本橋社会教育会館での集約集会に参加しました。会場は、２００名を超える参加者で一杯になり、全国の運動の交流や各県の集約数を発表しあいました。全国では９４万余の署名が集まりました。集会は、国会提出の２月末まで引き続き奮闘することを確認しました。その後、１６時すぎに出発したパレードは、日本橋から京橋までの３．５㌔を歩き、高層ビルが林立する東京の中心部で「ゆきとどいた教育をすすめよう！！」と元気にアピールを行いました。今回、久しぶりに参加した集約集会でしたが、この署名が持つ意義を改めて感じました。

★教育全国署名「2025年度各地のとりくみ動画」へご協力いただき、どうもありがとうございました！

動画データを共有します。各地の署名集約集会をはじめ学習会・会議等でぜひご活用ください！
https://x.gd/zQid3